

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 26

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	とちぎ結婚支援センター小山運営事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	① 社会環境等の状況変化により、再検証が必要と思われる事務事業		<4> 継続評価 新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	3 明日に生きる 男女が協力・子育て支援・ひとづくり	<6> 担当部(局)	保健福祉部
	中項目	3-1 とともに明るい家庭を築けるまち	<7> 担当所属	子育て包括支援課
	小項目	3-1-1 結婚・家庭づくり支援	<8> 担当係等	子育て政策係
	施策	結婚活動応援事業の推進		
<9> 根拠法令・計画等	とちぎの子ども・子育て支援条例	<10> 関連・類似事業		
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	3 款 2 項 1 目
<13> 実施期間	29 年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	6,631 千円	
<15> 実施手法	直営 「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	栃木県が開設している「とちぎ結婚支援センター」のサテライトをロプレビル6階に設置し、結婚を望む男女に出会いの場を提供する。						
目的	<17> 事業・業務の目的	全国的に重要課題である人口減少対策に対して、出生率を上げ、自然増により人口を増やすことを目指して、出会いの場を創出する。					
	<18> 事業・業務の対象	栃木県で居住または働いていて、結婚を希望し、自ら努力する20歳以上の独身男女					
手段	<19> 平成30年度の活動内容	栃木県が開設している「とちぎ結婚支援センター」のシステムが利用できるサテライトとして、「とちぎ結婚支援センター小山」を設置し、センターの周知を図ることにより、結婚を望む男女に会員登録を促す。					
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 達成率(%)		
	登録者数	人	200 171	300 280	93.3%		
成果	<21> 事業・業務の成果	センター会員が、システムを利用して引き合わせを希望した場合、スタッフが仲介に入り、二人を引き合わせ、交際のきっかけづくりをする。					
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 達成率(%)		
	引き合わせ件数	件	100 85	250 328	131.2%		
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度 計画 実績	平成30年度 計画 実績 投入率(%)		
		千円	5,539 5,254	8,061 6,864	85.2%		
		事業費等	千円	4,100 3,815	6,631 5,434	81.9%	
		財源内訳	国・県補助金	千円			
			地方債	千円			
			その他	千円			
		一般財源	千円	4,100 3,815	6,631 5,434	81.9%	
人件費	千円	1,439 1,439	1,430 1,430	100.0%			
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.2 7,195 × 0.2	7,146 × 0.2 7,146 × 0.2				
他の職員	千円 × 人役	2,304 × 0.0 2,304 × 0.0	2,304 × 0.0 2,304 × 0.0				

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1.向上の余地はある
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいのか?	2.中位
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		1.向上の余地はある	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	平成29年11月に開設以来、チラシの配布やメディアを活用したPRを行いセンターの周知を図ってきたが、開設2年目となり会員数も増えてきたことから、今後は引き合わせ回数を増やすなど、会員同士の交流の活発化へ注力していくことが必要である。

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	成婚につなげるためには、引き合わせ件数を増やす必要がある。土日に引き合わせが集中しており、お引き合わせ部屋が1部屋しかなく、予約枠の少なさが課題となっている。今後の方針として、スタッフの研修を行い、引き合わせ申込につながるよう会員向けに相談会等を行えるようにしていく。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 本事業は、市と県と「とちぎ未来クラブ」との連携事業であるため、早急に結果を出すのは困難である。関係機関と調整を行い、土日の予約枠拡大等を要望していく。また、スタッフのシフトについて土日の配置人数を増やす等の見直しを行い、サービス向上を図っていく。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 センター開設2年目を迎えるにあたり、成婚につなげるための課題が見えてきた。上記関係機関との会議の場を設け、課題改善を行うとともに、平日利用の促進が課題である。

5 Plan - 計画 -

<37> 実施計画	現状課題や今後の方針を決めるため、「とちぎ結婚支援センター小山検討会議」や「とちぎ結婚支援センター小山実行委員会」を新設・開催していく。				
<38> 活動・成果目標	センターの周知を広報等で引き続きPRを行っていき、登録者数を増やす。また、会員のお引き合わせ回数を増やし、成婚につなげていく。	<39> コスト計画	単位	令和元年度 計画	令和2年度 計画
		千円	9,333	9,333	
		事業費等	千円	7,903	7,903
		人件費	千円	1,430	1,430